

『中高生の勉強あるある、解決します。』

BOOK

著者 池末翔太氏、野中祥平氏にインタビュー

—この本を書いたきっかけは？

僕らが大学生になって母校の勉強合宿に手伝いに行った時、後輩を見て、「僕らと同じところでみんなつまづいている」と気づいたんです。勉強方法がわからず、人にも相談できず、先生が悪いと言ったり、自分は頭が悪いと思ったり。そのあげく「どうせ自分には受験なんて無理」とあきらめる。見ていて、とてももどかしかった。そんなふうにあきらめる人を減らしたいというのが根本の想いですね。

—すぐにこの本を書いたのですか？

いえ、その前に勉強方法の小冊子を4冊まとめ、母校で配ってもらいました。高校時代にどんな情報があったらよかったですか二人で話していて、もっと受験生のリアルな声を聞きたかったなと。「合格体験記」ってよくあるけど、うさくんさいじやないですか。ああいうものではなく、どんな勉強をして、どんな悩みや挫折があった、途中の模試の判定はどうで、最終的にどこに受かり、どこに落ちたか。そういう生々しいところを僕らを含めた皆さんの卒業生に書いてもらいました。僕ら二人とも志望校はすべてE判定で、それでも最終的に合格しているんです。そういう人って実は多くて、志望を下げたり、あきらめなければ誰にでも可能性がある

ことを言いたかったんです。その小冊子がこの本の原型となりました。

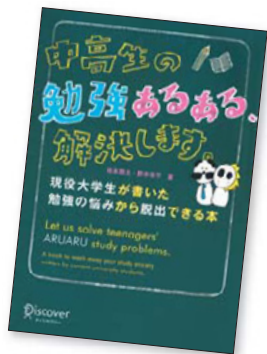
—今回の本には「やる気が出ない！」

「ケアレスミスしちゃうー」「三日坊主で終わっちゃう!!!」といった悩みが40本載っていて、各々に解決法が5つについて

『中高生の勉強あるある、解決します。』

現役大学生が書いた
勉強の悩みから脱出できる本
ディスカヴァー・トゥエンティワン 1365円

自分たちが中高生当時、「できる人を見て落ち込んじゃう」「計画倒れしちゃう」「やる気が出ない」と悩み苦しんだ分、今の中高生に役立つと活動開始。2010年にブログ「中学生・高校生のあるある研究所」を開設。月3万ページビューを集めて注目され、それを今回単行本化。勉強や日常生活のよくある40の悩みにアドバイスを送っている。(2011年9月初版発行)



います。なぜこういうスタイルに？

勉強方法って誰も教えてくれないからみんな我流だし、意外にひとつのやり方に凝り固まっているんです。そんな人たちに、「あっ、こんなやり方もあるんだー！」って、たくさんさんの気づきを与えた

い。本来、人それぞれ理解度は違うし、取り組みやすい方法も違います。だから、こんなふうな複数のやり方を並べて、どれでもいいんですよ」と提示するのは意味があると思ってるんです。

—読者からの反響は？

当時の僕らと同じように、頑張っているんだけど成績が上がらなくて悩んでいるような中高生には、ものすごく響くようです。「人生観が変わりました！」「勉強法の革命です！」なんて手紙もいたたりして、何やらとてもいい本を生み出してしまったなと、二人ほくそえんでいるところですよ(笑)。

—高校の先生方にメッセージを

教科を教えるのと同時に、それをどう学べばいいのか、勉強のコツまで教えてもらえる生徒はありがたいと思うんです。でもそれが難しいのは、おそらく先生は自分の得意科目で先生になるから、できない人がどうしてできないのか気づきにくいんじゃないでしょうか。生徒がどんなふう悩んでいるのかを知るためにも、ぜひこれを読んでください！

そして「こんなところで悩んでない？ だいじょうぶ？」と先生の側からアプローチしてもらえたら、間違いなく人気が出ると思いますよ！

池末翔太氏 (左)
野中祥平氏 (右)



いけすえ・しょうた ●1989年生まれ。現在、明治大学理工学部在学中。
のなか・しょうへい ●1989年生まれ。現在、慶應義塾大学環境情報学部在学中。
東京成徳大学中学校・高校で6年間をともに過ごした二人。今後は「中学生・高校生のあるある研究所」を核として、起業することも検討中。